

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2011 年 5 月号 (May 2011)

発行 日本英文学会東北支部 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院文学研究科英文学研究室
TEL/FAX 022-795-5961 Email: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 大河内昌

本年 4 月 1 日をもって、日本英文学会東北支部長に就任いたしました。副支部長には箭川修氏が就任されています。また、事務局長に岩田美喜氏、事務局員に市橋孝道氏にご就任いただきました。事務局も 4 月 1 日付で、東北大学文学研究科英文学研究室内に移転いたしました。残念なことに、東北支部の船出は、去る 3 月の大震災によって、出鼻をくじかれてしまいました。震災によって、支部の活動の日程にさまざまな影響が生じています。理事会や大会準備委員会の開催が遅れ、支部大会の研究発表募集のスケジュールが非常にタイトなものになってしまいましたし、今年度の支部大会の開催校が当初予定していた福島大学から東北大学に変更されることにもなりました。しかし、この震災を乗り越えて、当支部をさらに発展させるために、微力ながら力を尽くす所存ですので、事務局ともどもよろしくお願い申し上げます。

ご承知の通り、本年 4 月から、日本英文学会が名実ともに支部体制となり、それにともない東北支部も、理事会を中核として運営される新しい組織となりました。長年にわたって東北地方の英文学研究の基盤となっていた東北英文学会はそれとともに姿を消すことになりましたが、東北支部は東北英文学会のよき遺産を引き継いで活動してゆくことになります。今年度の支部大会を、東北英文学会の大会数を引き継いで第 66 回と称するのも、東北支部が東北英文学会における諸先輩方のご努力と業績を基礎として成立しているものであるからにはかたがたです。支部体制発足にともなって、新しい事業や試みがなされます。『東北英文学研究』はすでに第 1 号が刊行されましたが、今年度以降も東北支部の中心活動として、発行を続けてゆきます。また、今年度からは全国の支部大会のプログラムが統合された「統合プログラム」が発行される予定であり、東北支部もこれに参加する予定です。また、従来東北英文学会が設けていた「東北英文学会賞」を新しいかたちで引き継いだ「東北英文学賞」を設立して、東北地方の英文学研究の活性化の一助といたします。詳しくは、以下のニュースレターをご覧ください。

名実ともに支部体制が確立したとはいえ、支部本来の本格的な活動はこれからです。支部体制への変化は、公益法人法改正に伴う日本英文学会の組織変更という、いわば外的な理由でおこなわれたものですが、これをひとつの機会として、東北支部を英文学・アメリカ文学・英語学・英語教育学など、広く英語に関連する学問分野の研究者が集い、交流する場として活性化してゆきたいと考えています。会員のみなさまの一層のご協力をお願いいたします。また、この体制変革の激動期に東北支部／東北英文学会を見事に運営された遠藤健一前支部長と、横内一雄前事務局長をはじめとする前事務局のみなさまのご努力に、心から感謝いたします。

入退会手続きおよび会費納入について

支部長挨拶にもあるように、2011 年 4 月より日本英文学会は名実ともに支部体制となりました。これに伴い、本会の名称が「日本英文学会東北支部／東北英文学会」から「日本英文学会東北支部」へ変更されるとともに、「支部のみ会員」の身分は消滅いたしました。このため、2011 年度以降、全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることになります。詳しくは本部事務局（ejimu@elsj.org）へお尋ねください。年会費は、本部会費（7000 円）＋支部会費（1000 円）です。

『東北英文学研究』投稿論文募集

『東北英文学研究』第2号への論文投稿締め切りが、6月13日まで延長されました。投稿をご希望の方は、『東北英文学研究』投稿規定をご覧のうえ、ふるってご応募ください。査読を経て掲載が認められた論文は、2011年12月発行予定の日本英文学会『英文学研究支部統合号』に合本される『東北英文学研究』に掲載され、全国の会員に配送されます。

なお、投稿規定・五の文言が、「『英文学研究』へ投稿するときと同様、英文シノプシスとカバーレターも送付する」の意を含んでおりますので、忘れずにお付けください。

『東北英文学研究』投稿規程

- 一. 投稿資格は日本英文学会東北支部会員及び東北英文学会会員が有する。
- 二. 投稿論文の掲載は、編集委員会が決定する。
- 三. 投稿論文の送付は、事務局に3月31日までに必着とする。
- 四. 投稿論文は、原則として日本英文学会東北支部のホームページからダウンロードしたテンプレートを用いて作成し、1部を電子メールにより送付すること。郵送で提出する場合には、ワープロもしくはパソコンで印字したものを5部送付すること。いずれの場合にも原稿は返却しない。
- 五. 投稿論文の形式は、『英文学研究』投稿規程（和文・英文）に基づく。
- 六. 掲載された論文の著作権は、日本英文学会東北支部に帰属するものとする。
- 七. この規程は、平成22年4月1日から施行する。

第66回支部大会の開催について

2011年5月12日に第1回大会理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第66回大会は以下のように行われることになりました。

日時：2011年11月26日（土）・27日（日）

場所：東北大学川内南キャンパス

研究発表応募要項

大会第1日目には研究発表を行う予定です。研究発表をご希望の方は、(1)略歴、(2)2000字程度の発表要旨（審査用）、(3)400字程度の発表要旨概要（採用された場合に大会プログラムに掲載）、の3点を7月21日（木）までに MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局（tohoku@elsj.org）までお送りください。

シンポジウムについて

大会第2日目に行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

- ◆英文学部門：テーマ「ジャンルをまたいで〈ゴシック〉を見直す」（仮）
司会・講師：岩田美喜（東北大学）
講師：末廣幹（専修大学）・小川公代（上智大学）・伊藤優子（学習院大学・院）
- ◆米文学部門：テーマ「ポストモダンとSF」（仮）
司会・講師：高橋史朗（八戸工大）
講師：高橋哲徳（八戸工大）・中山悟視（福島高専）
- ◆英語学部門：テーマ「省略現象の諸相」（仮）
司会・講師：中村太一（東北大学）
講師：後藤亘（東北学院大・院）・木村博子（ノースアジア大学）
瀧田健介（日本学術振興会特別研究員）

理事会報告

2011年5月14日に、本年度第一回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部平成23年度第1回理事会 議事録

日 時 平成23年5月14日(土)・13:00～15:00
場 所 東北大学川内南キャンパス 文教棟3階 中会議室
出席者(敬称略) 支部長・大河内昌 副支部長・箭川修 事務局・岩田美喜／市橋孝道 理事8名

議 題

(1) 平成22年度事業報告について

事務局が提示した事業報告が承認された。

(2) 平成22年度決算報告について

事務局が提示した決算報告が承認された。

(3) 平成22年度監査報告について

監査委員の金子義明理事より監査報告について説明があり、承認された。

(4) 平成23年度事業計画について

事務局が作成した事業計画の「『東北英文学研究』編集委員会」について、投稿締切を6月13日に再延長すること、投稿論文を送付した直後にも予備編集会議の開催を加えること、そこでは分野ごとの判断によって外部委員の委嘱に関するメール審議を行うことが提案され、承認された。

同事業計画の「日本英文学会東北支部大会の開催」について、福島大学で支部大会を開催することについて複数の理事より疑問や意見が出た。理事会における慎重な審議の結果、開催日は当初予定の11月26-27日のままだが、開催校を東北大学に変更することが決議された。また、これに伴い、今年度の大会準備委員会開催校委員である後藤史子(福島大学)理事が大会準備委員を辞任し、代わって金子義明理事(東北大学)が開催校委員に就任した。

(5) 平成23年度予算について

事務局が提案した予算案が承認された。

(6) 東北英文学賞について

「東北英文学賞」について、大河内支部長より説明があり、数名の理事からの質問を経て事務局が提示した「東北英文学賞規程」が承認された。

(7) 東北支部英文学振興基金の使途について

東北英文学振興基金の使途について、大河内支部長より説明があった。鈴木理事から「7月13日に仙台で開催される日本口マン派学会主催の講演会を、東北支部との共催にしたい」という要請があり、承認された。

(8) その他

・8-1 今年度の東北支部大会に付す開催回数の数え方について

今年度の東北支部大会に付す開催回数の数え方について、審議の結果、東北英文学会を引き継いだ「第66回」とすることに決定された。

・8-2 2013年度の日本英文学会全国大会について

大河内支部長より、2013年度の日本英文学会全国大会について、東北支部の主催になる予定であること、これまでのように開催校主体ではなく、支部が主体となって大会を運営する必要があることなどが説明された。

以 上

これに関連して、以下に「東北英文学賞規程」および「東北英文学賞応募要項」を掲載します。ど

うぞふるってご応募ください。

東北英文学賞規定

第1条（名称）本賞は東北英文学賞と称する。

第2条（目的および賞金）本賞は英文学・米文学（それぞれに比較文学・比較文化を含む）・英語学（言語学・英語教育学をふくむ）の各分野における研究を奨励するとともに、優れた業績を顕彰することを目的とする。

賞金は5万円とする。

第3条（対象）東北英文学賞はつぎの二部門からなる。

1. 東北英文学ベストエッセイ賞

『東北英文学研究』に掲載された論文の中で編集委員会がとくに優秀と認めた論文。『東北英文学研究』に掲載されたすべての論文が自動的に審査対象となる。

2. 東北英文学賞

東北支部大会における研究発表またはシンポジウム発表の内容が、後日論文または著書として刊行されたもの。

東北英文学ベストエッセイ賞・東北英文学賞それぞれの授賞対象となるのは、原則として授賞前年度に刊行された論文・著書とする。

第4条（審査）1. 東北英文学ベストエッセイ賞・東北英文学賞の応募論文の審査は、各

分野について『東北英文学会』編集委員会および東北支部支部長が指名した委員によって行う。

2. 東北英文学ベストエッセイ賞・東北英文学賞の授賞論文・著書は、原則としてそれぞれの賞の各部門において1年に1篇とする。

第5条（授賞）授賞の発表は東北支部大会でおこない、授賞者に賞金と賞状を授与する。

付則 本規定は、平成23年（2011年）4月1日より施行する。

東北英文学賞 平成23年度応募要項

(1) 応募者は日本英文学会の会員であること。ただし、東北支部の会員であることを要しない。

(2) 応募論文は平成22年度に発表された論文で、内容が東北支部大会において発表された内容に基づいていることが本文または注の中に明記されているものでなければならない。

(3) 応募者は、対象となる論文・著書を三部（コピーでも可）提出すること。

(4) 略歴を添付すること。

(5) 応募論文はあらかじめ申し出がないかぎり返却されない。返却を希望する場合には、返送に必要な額の郵便切手を応募のさいに同封すること。

(6) 締切 平成23年7月8日

(7) 宛先 日本英文学会東北支部事務局

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学文学研究科 英文学研究室内

(8) 授賞者は日本英文学会第66回大会において支部長から発表される。応募者には審査結果をべつに通知する。

付記 応募は本人以外の推薦によるものも受け付ける。

事務局の体制について

支部長挨拶にあるように、2011年4月より、事務局が東北学院大学から東北大学へ移転しました。事務局長は東北大学大学院文学研究科准教授・岩田美喜が務め、庶務には同大助教・市橋孝道が就いております。事務局へのご連絡は、電子メール（tohoku@elsj.org）をお使いください。